

一関工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	法学
科目基礎情報						
科目番号	0084		科目区分		一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	一般科目		対象学年		5	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材	教科書は使用しない。（参考書）伊藤正己、加藤一郎編「現代法学入門」有斐閣双書、稲正樹等著「法学入門」北樹出版。					
担当教員	阿部 憲記					
到達目標						
法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることの意味し、工学の修得を助けることにつながる。よって、本講義の到達目標は、工学を専攻する学生に必要な十分な程度の法学の習得となる。						
【教育目標】B 【学習・教育到達目標】B－１・B－２						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	法学を学び社会科学の知見を十分に広げることができる		法学を学び社会科学の知見を一定程度広げることができる		法学を学び社会科学の知見を広げることができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	法学は、社会科学の一分野である。工学を専攻するうえで、法学を学ぶことに疑問を覚える学生もいるかもしれない。しかし、工学とは、数学と自然科学を基礎とし、ときには人文科学・社会科学の知見を用いて、公共の安全、健康、福祉のために有用な事物や快適な環境を構築することを目的とする学問である。したがって、法学を学ぶことは、社会科学の知見を広げることの意味し、工学の修得を助けることにつながる。					
授業の進め方・方法	教科書を使用しての授業は行わないが、参考書としてあげた基本書などを通読することによって、授業内容の予習することを推奨する。また、配布するレジュメ（プリント）に基づいて復習することが望ましい。					
注意点	本講義は、授業で学生に意見を求める場合があるため、その際は積極的な参加を求める。 【事前学習】事前に該当箇所を参考書などで通読することがのぞましい。 【評価方法・評価基準】期末試験（60％）、課題（40％）で評価する。総合成績60点以上を単位修得とする。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	法学とはなにか（導入）		法学とはどのような学問なのか、概要を学ぶ	
		2週	「法」とはなにか		導入としての「法」を学ぶ	
		3週	法の効力・法の適用		法の効力、適用範囲、解釈等について学ぶ	
		4週	裁判制度		裁判の意義、裁判所の構成、裁判員制度などについて学ぶ	
		5週	法の類型		法にはどのような類型があるのか、その特色を学ぶ	
		6週	憲法①		法律の基礎となる憲法を学ぶ	
		7週	憲法②		人権について学ぶ	
		8週	憲法③		統治について学ぶ	
	2ndQ	9週	民法①		私法の中で多く知られている民法を学ぶ	
		10週	民法②		民法（各論）	
		11週	民法③		民法（各論）	
		12週	民法④		民法（各論）	
		13週	刑法①		公法の中で多く知られている刑法を学ぶ	
		14週	刑法②		刑法（各論）	
		15週	期末試験			
		16週	試験の解説、（授業内容）			
後期	3rdQ	1週	知的財産①		「特許権」や「著作権」などについて学ぶ	
		2週	知的財産②		「特許権」や「著作権」などについて学ぶ	
		3週	情報化社会の法①		情報化社会の問題に対する法制度について学ぶ	
		4週	情報化社会の法②		情報公開と個人情報の保護について学ぶ	
		5週	情報化社会の法③		プロバイダ責任と不正アクセスの禁止について学ぶ	
		6週	AIと法		AIネットワーク時代には、法がどうなるかをその問題について検討する	
		7週	国際社会と法①		国際法とは何かを学ぶ	
		8週	国際社会と法②		平和のための国際法について学ぶ	
	4thQ	9週	国際社会と法③		人権のための国際法について学ぶ	
		10週	環境と法①		環境問題の解決に対する法律と条令について学ぶ	
		11週	環境と法②		環境問題の特徴について学ぶ	
		12週	環境と法③		国境を超える環境問題について学ぶ	
		13週	宇宙と法①		宇宙活動に関連する国際法について学ぶ	
		14週	宇宙と法②		宇宙活動に関連する国内法について学ぶ	
		15週	期末試験			
		16週	試験の解説、（授業内容）			

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		試験	課題	合計	
総合評価割合		60	40	100	
総合評価		60	40	100	